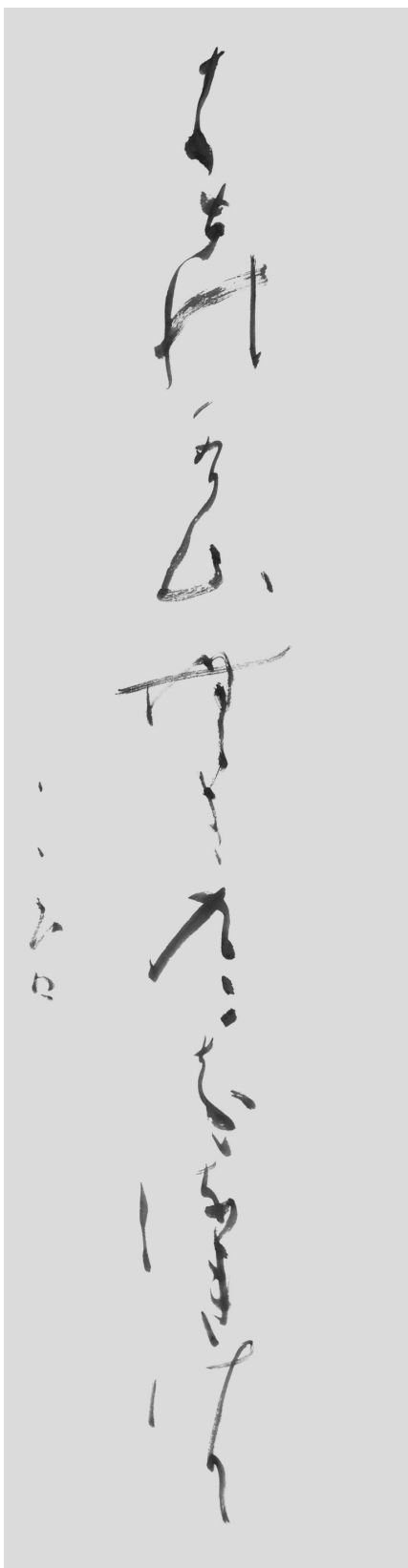


条幅部自由参考

1月25日正午必着

明石春浦先生書



春の水山無きくに流れけり (与謝蕪村)
能九三

明石幸子書



浩氣還太虚
 平生未報恩

丹心照千古
 留作忠魂補
 (楊繼盛)

私の浩然の気は今虚空に帰る。私の赤き心は永く千古にかがやく。報いきれぬ平生の恩、私の魂はこの世にとどまってそれに報いようとするだろう。

窪田華岳先生書



白雲海色曙 (王世貞)

白雲の向こうの海に日がのぼろうとしている。

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

聽_レ雪添_二詩思_一 (李建勳)

雪を聴いて詩思を添う

雪の降る静かな音をきいていると詩興がわく。

客自_二故郷_一來 應_レ知_二故郷_一事_一
來日綺窗前 寒梅著_レ花未 (王維)

客は故郷より来る 應に故郷の事を知るべし
來るの日 綺窓の前 寒梅 花を著けしや 未だしや

客が故郷からやって来た。故郷のことを知っているの、あの婦人の部屋の窓前の梅は花が咲いていたかどうかわからない。

寄_二永嘉崔道融_一 (司空図)

永嘉の崔道融に寄す 司空図

旅寓雖_レ難_レ定 乘_レ閑是勝游
碧雲蕭寺霽 紅樹謝村秋
戊鼓和潮暗 船窓照島幽
詩家多滯_レ此 風景似_二相留_一

旅寓 定め難しと雖も 閑に乗ずるは 是れ勝遊
碧雲 蕭寺霽れ 紅樹 謝村秋なり
戊鼓 潮に和して暗く 船窓 島を照らして幽かなり
詩家 多く此に滯まる 風景 相留むるに似たり

新_{あたら}しき年のはじめはいや年に雪踏み平_{なら}し常かくにもが (大伴家持)

半紙部規定課題A

1月25日正午必着

鐘童 萬井曙
多

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

1月25日正午必着

行書

萬井曙
鐘多

隸書

萬井曙
鐘多

明石春浦先生書

草書

萬井曙
鐘多

行草書

萬井曙
鐘多

建礼門のほとり、さわやかな秋の夜 承明廬に夜明けを待ちつつ過す
九重の門の奥にひやかな漏刻の音も尽き 市街の処々より、曉の鐘があまた鳴り響く
月の光ははるかに、真珠のような星をおおいかくし 雲は消え去って、天の川があらわれる
いまさらながら慚ずかしく思う、この老い衰えた身を以て 南の街路に、貴方と玉飾りを鳴らしつつ駒を並べて行くのが

與崔員外秋直

王維

建禮 高秋夜

承明 候曉過

九門 寒漏徹

萬井 曙鐘多

月迴 藏珠斗

雲銷 出絳河

更慚 衰朽質

南陌 共鳴珂

崔員外と秋に直す

王維

建礼 高秋の夜

承明に 曉を候ちて過ぐ

九門 寒漏徹し

萬井 曙鐘多し

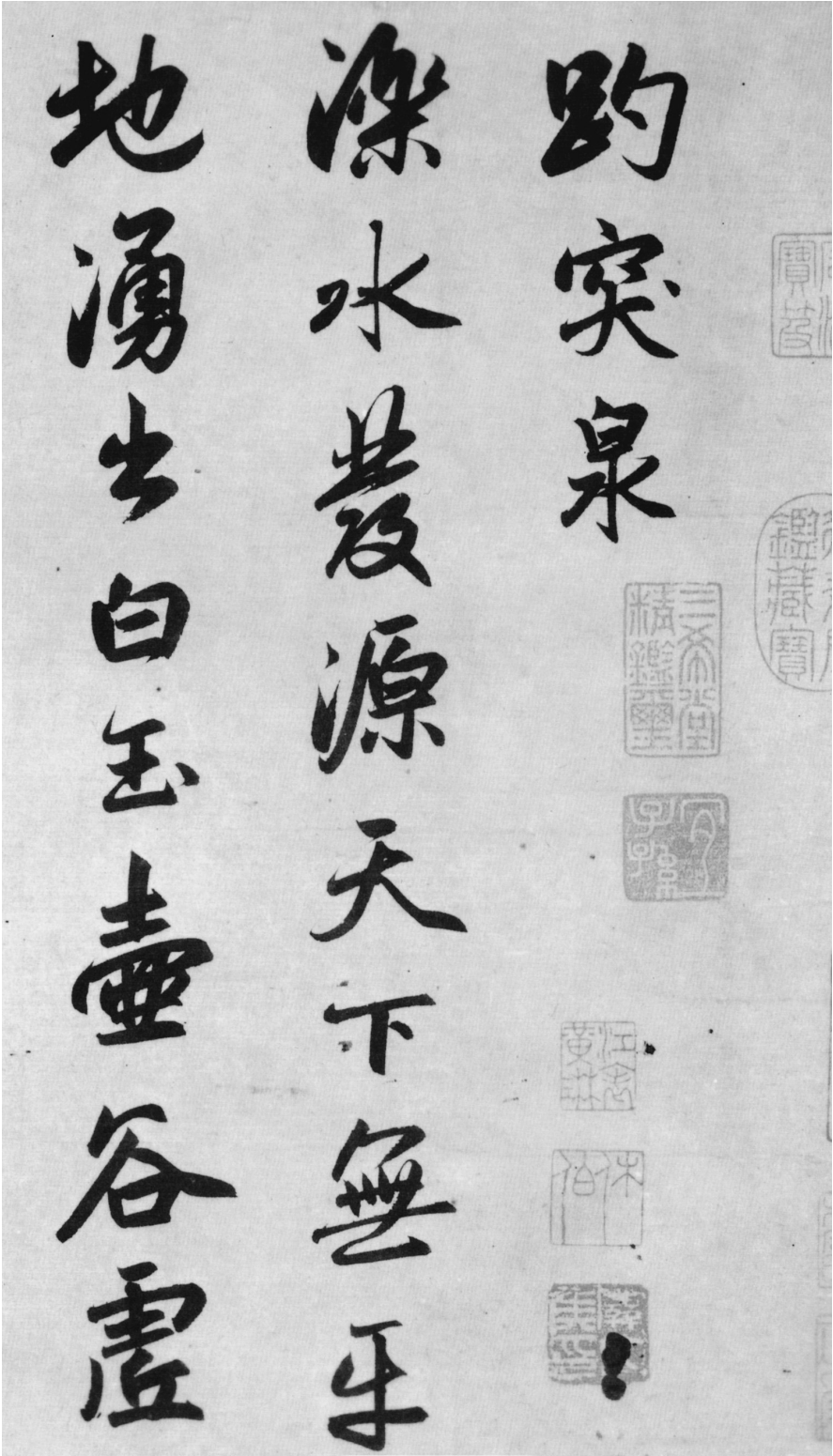
月迴かにして 珠斗を蔵し

雲銷えて 絳河出す

更に慚ず 衰朽の質の
南陌に 共に珂を鳴らすことを

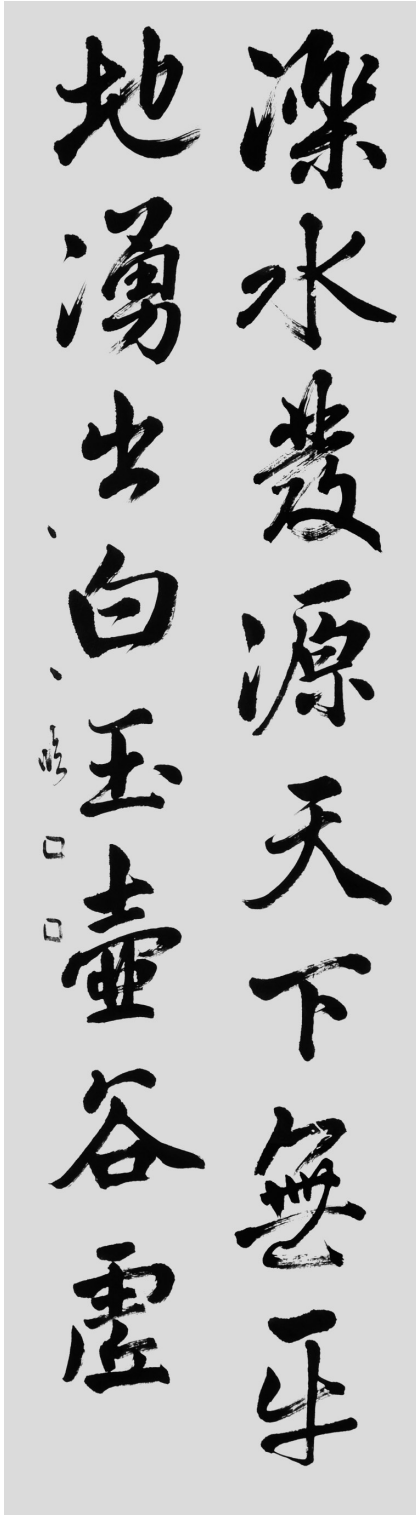
朝日新聞社刊

「三体詩」下より



趵突泉 深水發源天下無平地湧出白玉壺谷虛

趵突泉 はくとつせん
 深水の發源 れんすいのはつげん
 天下無し てんかなし
 平地湧出す へいちゆうしゅつす
 白玉壺 はきよくて
 谷虛しく… たにむなしく…



深水の発源 天下無し 平地湧出す 白玉壺 谷虚しく



深水の発源 天下(無し)

元趙孟頫・杓突泉

趙孟頫は、南宋の宝祐二年(一二五四)に生まれ、元の至治二年(一三三二)に没した。宋王朝の後裔でありながら、宋王朝を滅ぼした元の世祖皇帝フビライに招かれ元王朝に仕えた。このことは一族から批判を受け、後世の評判も芳しくないところもあるようであるが、政治家であり、元時代を代表する文人と称されている。字は子昂、号は松雪、鷗波。呉興(浙江省湖州市)の出身。

書人としての趙孟頫は、晋唐の古法を重んじ、復古主義を標榜し、王羲之を目ざし、更にそれを発展させようとしたといわれている。それは彼が皇族の出身で、貴族的な王羲之の書風は、伝統的に宋の宮廷で重用されていたこと、人格が円満で温和な教養人であったことに由来しているとされている。

趙孟頫の書風は筆法妍媚、結体淳古、すなわち端正で美しい書、風格高く、流麗さを備えているといわれている。

杓突泉は、泉都といわれる山東済南にある泉、古来天下第一泉として有名とのこと。優雅で温和な雰囲気味わいたい。

(春濤)



おり
織

もの
物

中学一年

雨宮春聲先生書



けい うん と(ふ)
景 雲 飛

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



が しょう
賀 正

小学五年

榎戸春龍先生書



たび じち
旅 路

小学六年

藤井良泰先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着



ほっ
北

かい
海

小学三年

藤田幸春先生書



ねん
年

ごう
号

小学四年

細谷春誠先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

は る 小学一年・幼年



森戸春濤書

し る 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

て	雪や寒さから守る
木	の幹にわらをまいて

小学五年

あなた	の努力には心
から	敬意を表します

小学六年

元日	の朝をむかえる
新	たな希望を胸に

中学

東天	の空には紫雲が
たなびき	新春を飾る

一般(級位)

あ	らたまのまたらるあ
た	よりまたらるあはあ

一般(段位)

あらかまの年たちかへるあしたよりまたるものは鶯の聲(素性)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

と	ゆ
お	き
く	の
に	や
み	ま
え	が
る	

幼年

と	し
う	ん
ご	年
ざ	
い	お
ま	め
す	で

小学一年

お	見
か	晴
に	ら
の	し
ぼ	の
る	よ
	い

小学二年

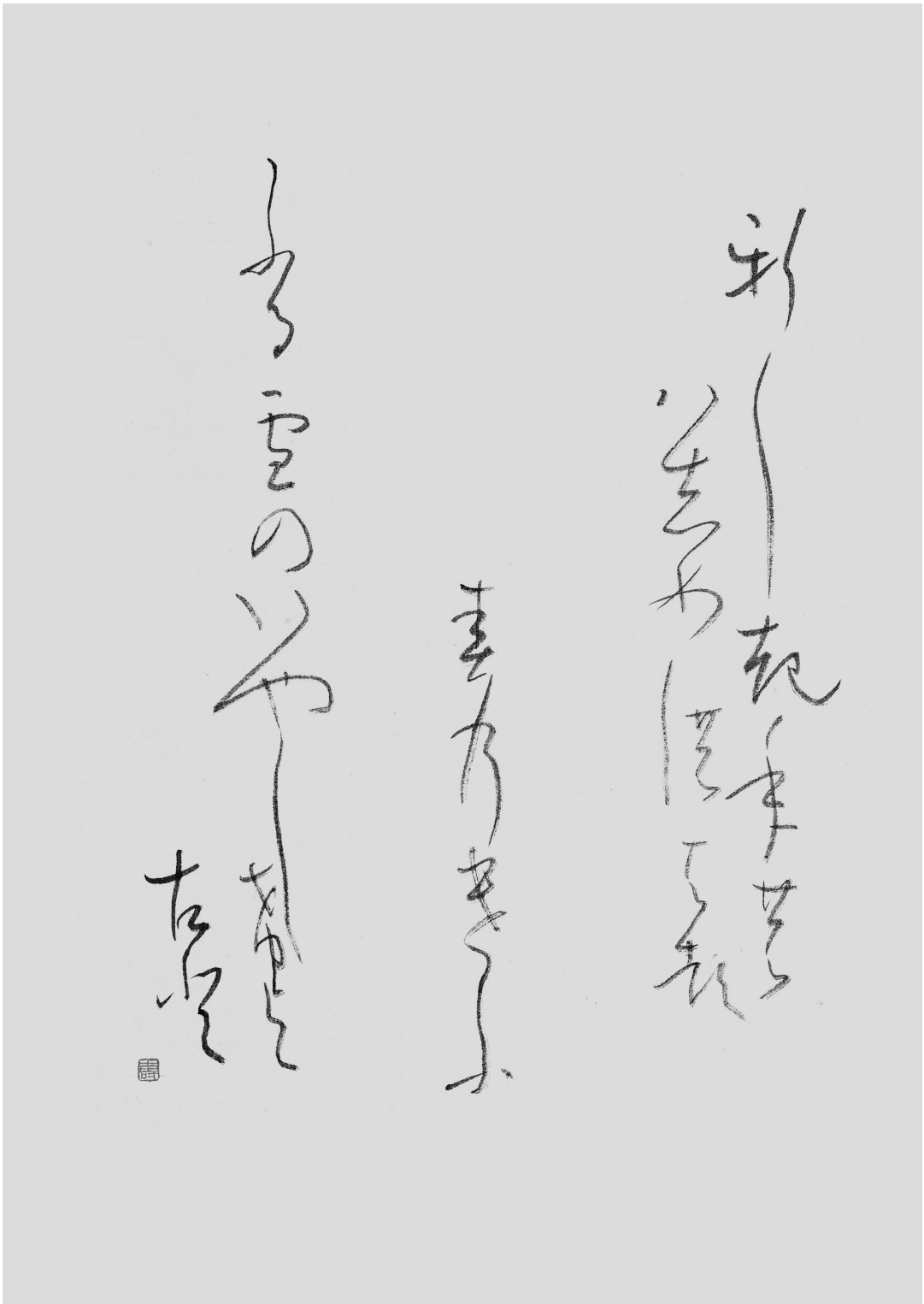
ち	え
合	き
わ	の
せ	東
を	口
す	で
る	ま

小学三年

る	長
島	く
を	つ
列	ら
島	な
と	っ
い	て
う	い

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



岩本景楓先生書

新しき年のはじめのはつ春のけふふる雪のいやしけよごと (大伴家持)
 起 農八志 濃者都 乃遣 希与古登

※新しい年のはじめに当る初春の、今日を降る雪が積もるように、いよいよ重なつてこい、よい事が。